

ウミガメと気候変動

近年、気候変動によって長時間の集中豪雨の増加や台風の大型化が進んでいます。それによって日本各地で、山崩れや川の氾濫、決壊等の自然災害が数多く起こっています。

自然災害や気候変動は人間にとっても大きな問題ですが、野生生物にとっても決して例外ではありません。ウミガメがどのような危機的状況にあるか想像し、対策を考えてみましょう。



ウミガメの産卵場所周辺に大量の流木が漂着した海岸（2021年8月中旬）

- 日時 **2022年3月12日（土）13:30～15:30**
- 場所 三重県総合博物館（MieMu）3階 レクチャールーム
三重県津市一身田上津部田 3060 （三重県総合文化センター向かい）
- 講師 樋口 俊実 氏（三重県気候変動適応センター 事務局長）
米川 弥寿代（ウミガメネットワーク三重 会長）
- 内容 近年、雨の降り方や降雨量の変化、海面上昇などのさまざまな気候変動が起き、問題となっています。また、それらの気候変動や将来の予測などから、ウミガメに与える影響について考えます。

**会場にてウミガメの骨格のほか、子ガメや胚などの標本も展示します。
合わせてご覧ください。**

- 参加費 無料
- 対象 どなたでも
- 定員 48名（申し込み要、当日受付も可）
- 主催 ウミガメネットワーク三重
- 協力 三重県総合博物館（MieMu）
- 問い合わせ・申し込み先

090-5600-0221（米川）
Email:umigamenetmie@gmail.com

*マスク着用、手指消毒をお願いします。
新型コロナウイルス感染拡大状況により、
中止の可能性があります。



公益財団法人
国際花と緑の博覧会記念協会

この事業は、上記団体から助成を受けて実施します。